



小浜市地域循環共生圏ワークショップ

身近な事例から学ぶ これからの地域ブランド

9/11 土

18:30~21:00

会場:GOSHOEN(護松園)

小浜市北塩屋17-4-1

「SDGs(持続可能な開発目標)」をはじめとし、環境・社会・経済に配慮した持続的かつ循環される地域づくりが求められる時代になりました。自立した地域をこれから目指していく上では、地域にあたりまえにあるモノを“資源”として捉え直して活かしていくことが大切になります。

いま小浜市では、行政と事業者、あるいは事業者同士などが協働し、地域資源を活かした新たな取組が起り始めています。そのような事例を交えながら、私たち地域住民が主体となる持続的な地域づくりには、どのような手法や関わり方が考えられるのかを探求していきます。

第一部 事例紹介(ゲストスピーカー)

下仲隆浩氏

(小浜市文化交流課) / 日本遺産「御食国若狭と鯖街道」の発信、活用推進を文化遺産政策専門員として産学官協働で推進。数多くのまちづくり市民団体にも在籍し、歴史や食文化を活かしたまちづくりを実践。

御子柴北斗氏

(㈱まちづくり小浜) / 農水省から小浜市役所へ出向し鯖養殖事業などを発起。2019年同省を退職し小浜市へ移住。おばま観光局では分散型古民家ホテル「小浜町家ステイ」や松永地区の観光資源を連携した「松永六感」などを手掛ける。

松本啓典氏

(㈱マツ勤) / 大正11年創業の㈱マツ勤四代目として2021年代表取締役役に就任。今会場でもある北前船の商人として大いに栄えた旧古河屋の別邸(護松園)を再生させた、GOSHOENprojectを主導。

第二部 ワークショップ

ワークショップは各地区での取組や地域資源となり得るものを掘り起こして、関係性を整理するような形の手法で予定しています。地域の自慢になるもの、事業性が考えられるもの、なくとも地域で守っていききたいものなど、参加者の皆さんの多様なご意見をお待ちしています。

主催 / 環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

共催 / 特定非営利活動法人 WACおばま 協力 / 小浜市役所未来創造課